

市野新田ダムだより 25号



株式会社フジタ 東京支店
市野新田ダム作業所
電話 0257-29-2861

平成28年 8月 盛夏号

現場の状況

市野新田ダムの進捗について



8月17日に第4回の基礎地盤検査が行われました。基礎地盤検査とはダムの堤体を盛立てる基礎地盤が、設計通りの強固な岩盤であることを確認するための検査です。今回の基礎地盤検査では、今年盛立予定の範囲の検査を行い、問題が無いことが確認されました。これから雪が降るまでの間、品質最優先で盛立が行われます。

左岸側（写真では右側）に位置する取水設備・洪水吐のコンクリート構造物も計画通りに建設が進められています。堤体の左右側で行われている地中の水の流れを止めるためのセメントミルクの注入（基礎処理工）も引き続き行われています。

市野新田ダムでは話題のドローンでの航空写真の撮影が試験導入されています。左の写真も作業所職員の佐竹さんがドローンで撮影した写真で、現場の全景を分かりやすく見ていただくことが可能となりました。



地区行事

6月25日
ホテル祭り



6月25日 今年も「ホテルまつり」が開催されました。当日はあいにくの天候でしたが、ホテルクイズや美しい綾子舞の公演、ホテルロード見学と楽しい時間に大勢の方が参加されました。悪天候の中でもほたるは美しく光ってくれました。



市内所々に張られてあった可愛い今年のほたるまつりのポスター

8/7
黒姫神社清掃



8月7日 黒姫神社清掃

お盆を前に地元の皆さんと黒姫神社の清掃に参加しました。きれいになった境内にやぐらを組み、盆踊りの準備も出来ました。いろいろな行事に参加させていただく度に皆さんのチームワークの良さには感服します。あとは踊り子さんをつつばかり！



当現場では毎日気象観測をしております(24時間)

6月平均気温 20.4℃(昨年6月平均19.6℃)
7月平均気温 23.7℃(昨年7月平均24.2℃)
8月20日までの平均気温 25.7℃
(昨年8月平均24.5℃)

6月の最高気温記録・6月19日10時30分 32.1℃
(昨年6月最高29.9℃)
7月の最高気温記録・7月2日14時30分35.7℃
(昨年7月最高38.4℃)
8月20日までの最高気温記録・
8月7日12時20分頃 35.4℃(昨年最高36.3℃)

8月23日に秋の2番目の処暑(ししよ)を迎え、秋の味覚がそろい始める頃、いよいよ食欲の秋の到来です。さまざまな秋の作物を頂き、夏に乱れた体調を整えましょう。



新職員紹介

7月より、新職員が配属されました。平成生まれの若い職員さんです。フレッシュなパワーが加わり、より一層パワフルになった市野新田ダムの現場です。

皆様どうぞ宜しくお願い致します。



堀田 崇由(ホリタ タカユキ)

出身地:北海道

年齢:26歳

市野新田ダムには2年ぶりの赴任となるためブヨの免疫が残っているか心配です。業務としては堤体の土質材料の品質管理を主に担当させていただきます。土の専門家として、高品質で永く使われるダムの建設に全力を尽くしますので宜しくお願いいたします。



佐竹 健太郎(サタケ ケンタロウ)

出身地:石川県

年齢:25歳

7月から市野新田ダムに配属されます。ダムの工事は初めての経験となりますが、新潟の美味しい食べ物とお酒をエネルギーに全力で頑張っています。よろしくお願い致します。

皆様、残暑御見舞い申し上げます、とはいえ夜になると幾分涼しく寝苦しさも落ち着いたようです。今年の夏は何と言っても4年に一度のオリンピック開催地のリオは日本とは地球の裏側で時差が12時間です。白熱のゲームは日本時間では夜中から朝方に生中継されましたので、睡眠時間を削って観戦してしまい寝不足の日が続いておりました。寝不足はいけません。夏場の寝不足は熱中症を引き起こしやすく体調を崩す一番の原因です。夏は温度も湿度も高く寝苦しいのが寝不足の原因ですがそれだけではないようです。人間は、太陽が上っている間は活動的に、日が沈めば眠くなるというしくみになっていて、夏は冬と比べて日が長いので、その延びた分だけ睡眠時間が自然と短くなるのです。その他に、体内のメラトニンという物質の分泌が作用するのですが夏の強い日の光で分泌が減り、眠りが浅くなるらしいです。しかしながら私は睡眠不足以上に、日本選手の素晴らしい活躍で一層元氣と活力を頂いた気がします。こんな気持ちになった人はきっと日本中にたくさんいらっしゃると思います。そして東京に引継がれ、気持ちはもう4年後に期待で膨らんでいます。それまで何とか元気に過ごして、会場に足を運んで感動の時間を過ごしたい、それが今の私の夢です。



市野新田ダム作業所のHP公開中です。ぜひご覧下さい。

市野新田ダム 検索